

【徳島県美馬市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』において、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげることが求められており、学校教育の基盤的なツールとして、ICTは必要不可欠なものであるといわれている。

本市では、第3次美馬市教育振興計画の基本目標の中で、『子どもたちの能力や可能性を最大限に伸ばし、社会で輝く力を培い、変化の激しいグローバル社会で自分らしい生き方を実現できる、「未来を拓く人づくり」を進めます』と掲げており、授業や家庭学習においてICT機器を有効に活用する習慣をつけることで、個別最適化された学びや、他者と協働したより深い学びを創造できるよう、ICTを活用した学習活動の充実に努めていく。

2. GIGA第1期の総括

令和元年度より順次ICT環境の整備を進め、令和元年度に児童生徒3人に1台のタブレット端末及びプロジェクター型電子黒板の整備、令和2年度に1人1台のタブレット端末及び無線環境設備の整備、令和3年度に指導者用のタブレット端末を整備してきた。また、1人1台のタブレット端末の活用を開始したことに伴い、授業及び家庭等における自主学習のための学習支援アプリの利用を開始した。さらに、ICT教育支援員とICT支援員による小・中学校への訪問活動を行い、ICT機器の問題解決や授業への利活用方法についてのアドバイスをすることで、教職員や児童生徒のICT機器への理解と活用能力の向上につなげてきた。

このように、学校現場や家庭でICT機器を積極的に活用できる環境を整えてきたが、ICT機器を活用する頻度が増えてきたことによって、タブレット端末の故障や通信環境が安定しないなどの課題が出てきた。

これらの課題を解決するために、1人1台端末の更新の際には、児童生徒の学びを止めない観点から、十分な予備機を整備していくとともに、ネットワークアセスメントの実施により、ボトルネックの所在等を明らかにし、ネットワーク環境の改善に向けて進めていく。

3. 1人1台端末の利活用方策

今まで以上に充実したICT環境を整えていくことを前提に、1人1台端末の利活用方策として次の取組みを推進していく。

1つ目に、1人1台端末を積極的に活用するために、児童生徒が1人1台端末を文房具のように利用できる環境を整えていく。その上で、1人1台端末の利用方法や親しみやすく学習が継続できる学習支援アプリを紹介し、授業だけでなく休み時間や家庭で利用する機会が増えるように促していく。

2つ目に、個別最適・協働的な学びの充実を図るために、毎年行っている教員向けのICT利活用に関する研修の継続・強化するとともに、学校間で取り組みの差が生じている授業支援アプリの活用についても、多くの教員が授業支援アプリを当たり前のように利用できる環境を整備していく。

3つ目に、全ての児童生徒の学びを保障するために、不登校や体調不良等で欠席した児童生徒に対して対面授業とオンライン授業を兼ねたハイブリッドな授業の展開を目指していく。また外国人児童生徒や障がいのある児童生徒に対しては、1人1台端末を活用することにより、個に応じた学びの幅を広げて学習機会を確保していく。

以上の取組みを推進することで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善を行い、児童生徒が1人1台端末を積極的に活用できる支援を継続していく。